



# あなたの愛車は大丈夫ですか？

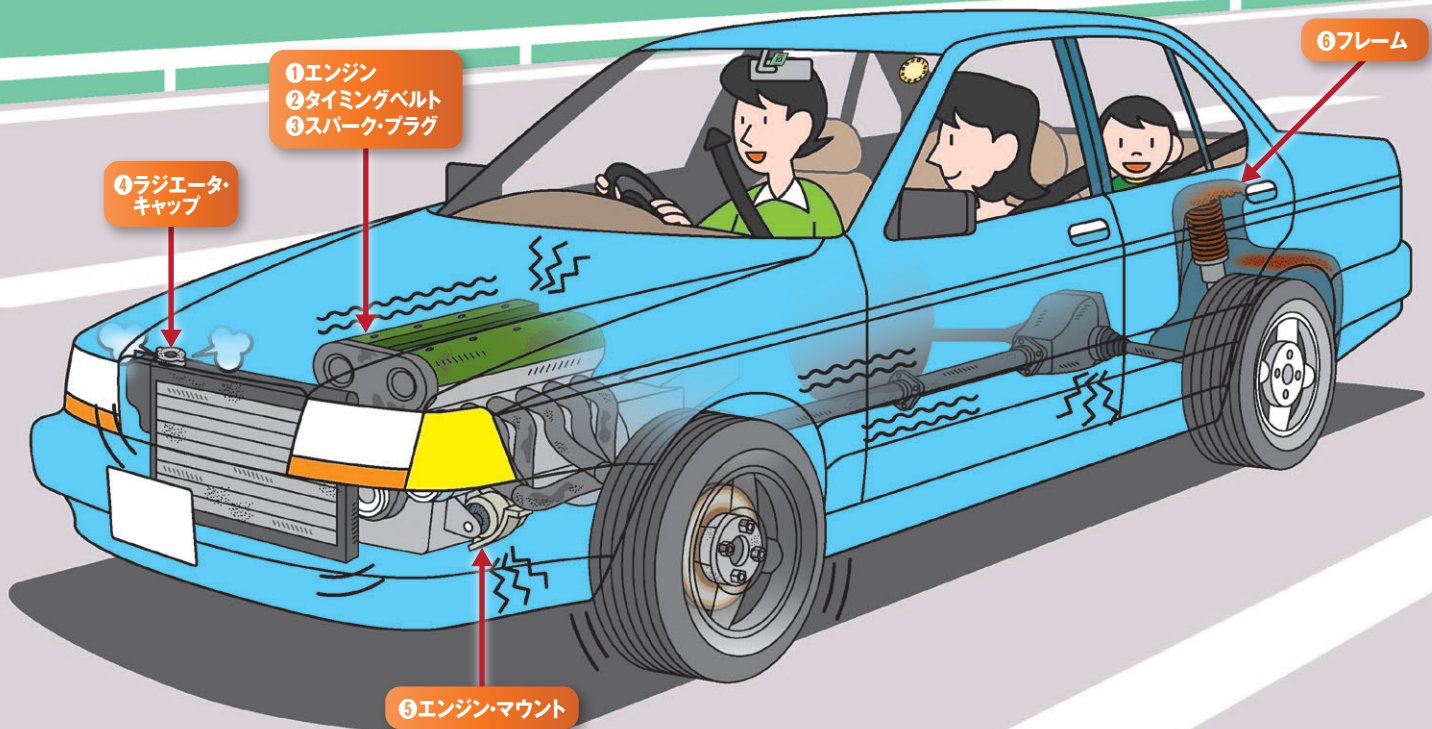
## お車を未永く快適に使用するために

長期間使用及び積算走行距離が多い車両は、ユーザーの皆様が気付かないうちに、走行性能はもちろん、環境、燃費、安全面等でも本来の性能を出せない状態になっていることが多くあります。このような状態で使用し続けると、突然重度の故障に陥り、多額の出費が必要になるだけでなく、お出かけ先での故障では、楽しみにしていた予定を台無しにしてしまいます。

これらを防止し、愛車を快適に使用するためには、法定定期点検だけでなく、年式・走行距離に見合った的確な点検・整備がキーポイントになります。

本チラシ裏面に自家用乗用車の法定定期点検項目(1年、2年点検)のみの点検・整備だけでは未然に防ぐことができない、長期間使用及び積算走行距離が多い車両に発生する可能性が高い故障・不具合事例を紹介していますので、お車を未永く快適に使用するための一助となれば幸いです。

社団法人 日本自動車整備振興会連合会



(注意) イラスト中に示す部品等の場所は一例となります。

※裏面に自家用乗用車の法定定期点検項目(1年、2年点検)のみの点検・整備だけでは未然に防ぐことができない故障・不具合事例(イラスト①～⑥)を掲載しています。



# 長期間使用した車両の故障・不具合事例

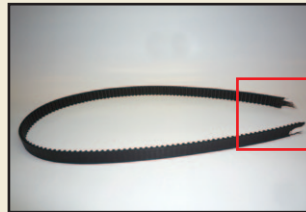


## 1 メンテナンス不良によるエンジン異音発生



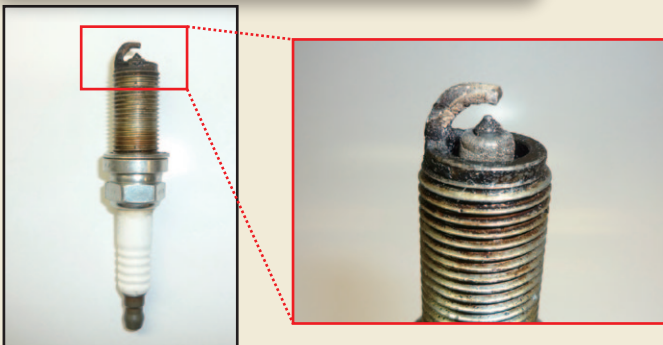
エンジン・オイル等のメンテナンスが不良だった場合、エンジン内部に汚れが蓄積され、性能低下、燃費悪化等を引き起こし、そのまま使用し続けると、最悪の場合エンジンが焼き付いて使用不可能になってしまいます。

## 2 劣化、摩耗によるタイミング・ベルト切断



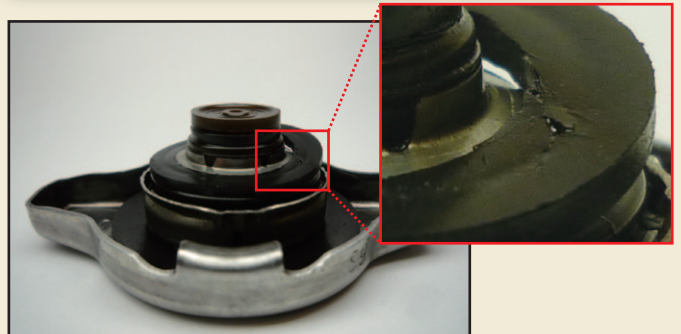
タイミング・ベルトはエンジンを動かす上で重要な役割を担っています。摩耗、劣化により切断した場合、走行不可能になってしまい、エンジンに重度の故障を引き起こしてしまう可能性があります。

## 3 白金スパーク・プラグ不具合による点火不良



スパークプラグは、エンジンを動かすために、燃料に点火をしています。電極が消耗・損傷を起こすと、点火不良を起こし、燃費の悪化やエンジンの寿命に悪影響を与える可能性があります。

## 4 ラジエータ・キャップ劣化によるオーバーヒート



ラジエータ・キャップが劣化すると、冷却水に圧力がかけられなくなり、沸騰してエンジンがオーバーヒートしてしまい、最悪の場合エンジンが焼き付いて使用不可能になってしまいます。

## 5 エンジン・マウント劣化による亀裂



エンジン・マウントはエンジンを支え、車体に振動を伝えないためにクッションの役割をしています。振動により劣化し、亀裂が生じた場合、エンジン本体が脱落する危険があります。

## 6 フレーム塗装劣化による腐食・損傷



フレームは車重を支える重要な部分で、塗装が劣化したまま使用し続けると、腐食等で亀裂、損傷が生じ、足廻り部品が脱落する危険があります。